

報告事項ハ

特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について

特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について、別紙のとおり報告します。

平成31年3月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成30年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について

特別支援教育課

1 目的

特別支援学校幼児児童生徒が生涯にわたって運動・スポーツに親しむための在学中の指導・支援の在り方や運動・スポーツ環境等の充実にに向けた取組について協議する。

2 日時

平成31年2月21日（木） 午後2時から午後4時まで

3 場所

鳥取県庁 第2庁舎9階 第20会議室

4 参加者

各県立特別支援学校 副校長・教頭・主幹教諭（各校1名）

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会事務局長・スポーツ指導員・障がい者スポーツプロデューサー

地域振興部スポーツ課 係長

体育保健課 係長

5 内容

(1) 情報提供

①関係課、関係団体事業説明等

②各校の取組について

③「地域スポーツ充実事業（琴の浦）」実践報告

【報告内容】（報告者：琴の浦高等特別支援学校 主幹教諭 中尾 有香里）

- ・中学校時代に部活をしていた生徒は41%。今は、文化部もいれるとほぼ100%。元々、集団的なスポーツが苦手な生徒が多いが、学校生活を通して、様々な経験を積極的に設定することで、スポーツが好きな生徒が増えている。また、新体力テストの得点も向上している。
- ・卒業後に地域総合型スポーツクラブを活用希望のあった生徒は、去年は数人だったが、今年は20人以上いた。（在校生の約20%）年々、卒業後も地域でスポーツを続けたいという意識が生徒の中に高まっている。しかし、東部、西部には受け皿となるスポーツクラブが無く困っている。琴の浦高等特別支援学校に、何らかの形でスポーツクラブを立ち上げられないかと考えているところである。

(2) 協議

テーマ

「すべての児童生徒が生涯にわたって、心身の健康の保持や豊かなスポーツライフを実現するために必要な取組について」

【主な意見】

- ・卒業後等、地域でのスポーツ活動については、保護者の送迎の協力が必要なケースが多い。中には関心の低い保護者もいるので、移動がネックとなるケースで参加ができない場合もある。（特別支援学校参加者）
- ・パラアスリートとの出会いは、児童生徒の運動スポーツの意欲向上につながる。（特別支援学校参加者）
- ・移動については、スポーツ実施率向上に向けた課題の一つとして考えている。東部に設立する予定の障がい者スポーツの拠点については、専用のバスを準備することも考えている。また、特別支援学校だけでなく、特別支援学級の児童生徒を対象としたパラアスリート派遣等の事業も考えている。（スポーツ課）